



Bernard Giraud (ベルナール・ジロー)

Groupe DANONE, Director of sustainable development and social responsibility
(ダノングループ、持続的発展および企業の社会的責任分野における統括者)

- 1998年 ダノングループ入社
入社以降現在まで、持続的発展および企業の社会的責任(CSR)分野における統括者を務める。ダノンの企業文化やビジネスモデルの中核を成す CSR の定義や、これに則ったグループ戦略実施を指揮
- 2001年 ダノングループの代表取締役フランク・リブー(Franck Riboud)の強力な支援により、ビジネスや経営に CSR や持続的発展といった視点を織り込んだ新たな手法「Danone Way(ダノンウェイ)」を開始。現在では、世界中のダノン支社に「Danone Way」が浸透している
- 最近では発展途上国での栄養不足や貧困問題の解決を目指し、社会ビジネスモデルに投資する革新的な社会事業基金「ダノン・コミュニティーズ(danone.communities)」を設立。健康的な製品を低価格で提供するとともに、経済的にも持続性のある取り組みを支援している
- また、ダノングループと、ノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス氏が率いる小規模融資(Micro finance、マイクロファイナンス)を行うグラミン銀行との合併事業により、バングラデシュに低価格な乳製品の提供を実現
- 2003年～2006年 CSR Europe(シーエスアール ヨーロッパ)*事務局長をダノングループの業務とともに兼任。現在も役員を務める

ダノングループ入社以前は、米国からの対仏投資を促進する政府組織であるフランス政府投資誘致機関「対仏投資庁」(AFII)のニューヨーク支部でエグゼクティブディレクターを務めた経験を有する

民間および政府双方の分野で経験を積んでおり、米国のレクリエーション企業である Johnson Worldwide Associatesの子会社や、南部および西部フランスの経済開発機関でディレクターを務めた。その職務において、産業構造改革を行い、改革が社会に与える影響を最小限に抑えるための様々な CSRプログラムや新規プロジェクトの開発を担当した

既婚、3人の息子と1人の娘を持つ

*CSR Europe は 80 以上の多国籍企業が属する経済団体で、欧州、北米、そしてトヨタ、ソニー、キヤノン、エプソン、日産等を含む日本企業も参加。企業が社会的責任を事業の中核として位置づけることで、企業の利益確保、持続的成長、そして人材育成を支援することをミッションと掲げている。また、CSR Europe は 2006 年に欧州連合委員会(EU Commission)によって設立された European Business Alliance(ヨーロッパ・ビジネス・アライアンス)の CSR 分野において重要な役割を担っている